



Oracle® Hyperion Enterprise Performance Management System Installer  
& Oracle® Hyperion Enterprise Performance Management System  
Configurator

リリース 11.1.2.3

Accessibility Guide

ORACLE  
ENTERPRISE PERFORMANCE  
MANAGEMENT SYSTEM

目次

はじめに .....	2
EPM System インストーラおよび EPM System コンフィグレータのアクセシビリティを使用可能にする .....	2
EPM System インストーラおよび EPM System コンフィグレータのキーボード同等操作 .....	3

## はじめに

この付録では、Oracle Hyperion Enterprise Performance Management System インストーラおよび Oracle Hyperion Enterprise Performance Management System コンフィグレータのアクセシビリティ機能について説明します。

オラクルのお客様は、My Oracle Support を通じて電子サポートを得ることができます。詳細は、<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&ID=info> を参照してください。聴覚に障害のある方は、<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&ID=trs> を参照してください。

オラクル社のアクセシビリティへの取組みについては、Oracle Accessibility Program の Web サイト <http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&ID=docacc> を参照してください。

## EPM System インストーラおよび EPM System コンフィグレータのアクセシビリティを使用可能にする

EPM System インストーラおよび EPM System コンフィグレータのアクセシビリティ・バージョンを使用するには、これらをコンソール・モードで起動する必要があります。

▶ EPM System インストーラのアクセス可能バージョンを使用するには:

### 1 EPM System インストーラをコンソール・モードで起動します:

- (Windows) Windows コンソールで、EPM System インストーラファイルを抽出したルート・ディレクトリに移動し、`installTool.cmd -console` と入力します。
- (UNIX) EPM System インストーラ・ファイルを抽出したルート・ディレクトリに移動し、`./installTool.sh -console` と入力します。

**ヒント:** JAWS スクリーン・リーダー・ソフトウェアを使用していて、大きなテキスト・ブロック(アセンブリのリストや Oracle Hyperion Enterprise Performance Management System インストーラのようなテキストなど)の読みあげを中止する場合は、**[Ctrl]**を押します。プロンプト行を再度読み取るには、**[Insert] + [↑]**または**[↓]**を押します。ダイアログ・ボックス全体を再度読み取るには、**[Ctrl] + [5]**を押します。

### 2 プロンプトごとに、必要な選択内容の隣に数値を入力します。場合によっては、テキストを入力することも求められます。

**ヒント：** 「[Enter]」を押すと、デフォルトの選択内容をそのまま使用し、次のプロンプトに移動できます。デフォルトの選択内容は大きめに囲まれてプロンプトの末尾にあります。たとえば、「ヘルプ」は0、「次へ」は1、「取消し」は2、「再表示」は3を押します [1] のようになります。この場合、「[Enter]」を押すと、「次へ」を意味するオプション 1 が選択されます。

▶ EPM System コンフィグレータのアクセス可能バージョンを使用するには:

**1 Oracle Hyperion Enterprise Performance Management System コンフィグレータをコンソール・モードで起動します:**

- (Windows) Windows コンソールで、EPM\_ORACLE\_HOME/common/config/version\_number に移動し、configtool.bat -console と入力します。
- (UNIX) EPM\_ORACLE\_HOME/common/config/version\_number に移動し、./configtool.sh -console と入力します

**2 プロンプトごとに、必要な選択内容の隣に数値を入力します。場合によっては、テキストを入力することも求められます。**

**ヒント：** 「[Enter]」を押すと、デフォルトの選択内容をそのまま使用し、次のプロンプトに移動できます。デフォルトの選択内容は大きめに囲まれてプロンプトの末尾にあります。たとえば、「ヘルプ」は0、「次へ」は1、「取消し」は2、「再表示」は3を押します [1] のようになります。この場合、「[Enter]」を押すと、「次へ」を意味するオプション 1 が選択されます。

## EPM System インストーラおよび EPM System コンフィグレータのキーボード同等操作

この項では、次のプロンプトに相当するキーボード同等操作について説明します:

- ナビゲーション
- 製品の選択
- はい/いいえ

**表 1** キーボード同等操作

キー	アクション
0	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ナビゲーション・プロンプトの場合 - 「ヘルプ」 ヘルプが、「コンソール」ウィンドウに表示されます。</li> <li>● 製品選択プロンプトの場合 - 「選択」</li> <li>● はい/いいえプロンプトの場合 - 「はい」</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ナビゲーション・プロンプトの場合 - 「前へ」(ほとんどの場合)</li> <li>● 製品選択プロンプトの場合 - 「選択解除」</li> <li>● はい/いいえプロンプトの場合 - 「いいえ」</li> </ul>

キー	アクション
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ナビゲーション・プロンプトの場合 - 「次へ」(ほとんどの場合)</li> <li>● 製品選択プロンプトの場合 - 「展開」</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ナビゲーション・プロンプトの場合 - 「取消し」(ほとんどの場合)</li> <li>● 製品選択プロンプトの場合 - 「取消し」</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ナビゲーション・プロンプトの場合 - 再表示(ほとんどの場合)、 「ロード」または「保存」</li> </ul>
[Enter]	<p>デフォルトの選択内容をそのまま使用し、次のプロンプトに移動します。</p> <p>デフォルトの選択内容は大きかっこに囲まれてプロンプトの末尾にあります。たとえば、「ヘルプ」は0、「次へ」は1、「取消し」は2、「再表示」は3を押します [1] のようになります。この場合、「[Enter]」を押すと、「次へ」を意味するオプション1が選択されます。</p>



## 著作権情報

EPM System Installer & EPM System Configurator Accessibility Guide, 11.1.2.3

Copyright © 2013, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

著者: EPM 情報開発チーム

Oracle および Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

### U.S. GOVERNMENT RIGHTS:

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション（人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む）への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（redundancy）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。